

眼底診断用光干渉断層計 (スペクトラルドメインOCT)

株式会社ニデック



緑内障解析

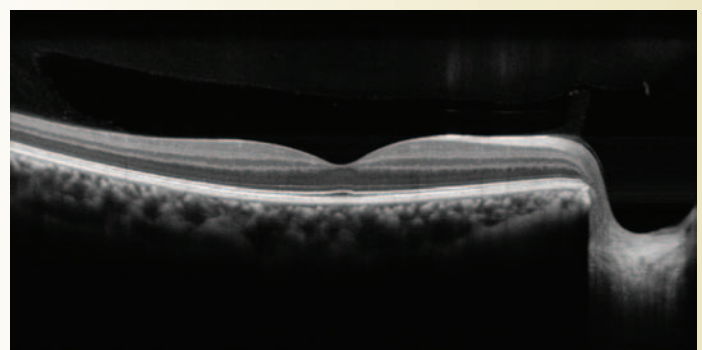
- [NFL+GCL+IPL] ワイドエリアスキャン解析
緑内障の早期発見に有用とされている [NFL+GCL+IPL] 厚解析機能を搭載しました。日常生活に影響の出やすい中心視野欠損につながる視神経線維層欠損の早期発見に有用です。広範囲 (9×9mm) のエリアを撮影することで、より周辺の変化を捉えることが可能です。
- RNFL厚マップ (ILM~NFL/GCL)
乳頭辺縁のRNFL厚 (網膜神経線維層厚) のカラー表示はNFLD (神経線維層欠損) の状態や定量的な厚み解析結果を明瞭に表示し、緑内障の早期発見や経過観察に有用です。
- TSNIT解析 (乳頭サークル)
乳頭辺縁 (φ3.45mm) サークルのRNFL厚を正常眼比較解析し表示
- ラジアルスキャン解析 (乳頭ラジアル)
放射状にスキャンした乳頭断面形状を高画質で表示
6ライン (30° 間隔)、12ライン (15° 間隔) が選択可能

網膜解析

- 高精細B-Scan画像&リアルタイムSLO画像
患者様に低刺激で、かつ高解像度な眼底SLO像は感覚網膜疾患部位の変化を特徴的に表現します。SLO画像を参照しながらOCTの撮影部位を指定可能です。
- ハイスピードアベレーシング
高速/高精度の加算平均を行い、スペックルノイズを大幅に低減します。(当社比)
エラー画像は自動判定し加算を行わないため、より高精細な画像を表示可能です。
- 3Dマップ/立体像
9×9mmの広範囲マップ/立体像をわずか1.6秒で撮影可能です。
黄斑を含むアーケード内全体像の微細な3Dマップ表現により、層構造の理解が深まり、診断をサポートします。
- 黄斑厚マップ (ILM~RPE/BM)
網膜全体の厚み変化や局所的な形態変化を捉えることに有効です。
SLO画像に網膜全層厚のカラーマップをオーバーレイで表示します。
- ラジアルスキャン解析 (黄斑ラジアル)
放射状にスキャンした網膜断面形状を高画質で表示
6ライン (30° 間隔)、12ライン (15° 間隔) が選択可能
- 6層セグメンテーション
高精細のB-Scanは最多で6層の表現が可能

前眼部解析

- 隅角計測
■ 隅角計測パラメータ
・ AOD500(AOD750)
角膜後面の強膜岬から500μm (または750μm) の点から虹彩までの距離
・ TISA500 (TISA750)
AOD500 (またはAOD750)、角膜後面、強膜岬からAODと平行に引いた線、虹彩表面の4つの線で囲んだ面積 (mm²)
・ ACA
角膜後面と虹彩表面の角度 (deg)
- 角膜計測
角膜頂点部の厚さと任意部位2点までの厚み計測や角膜厚マップの表示が可能



正常眼の眼底断層画像